

# タットン会 通信

2011.  
10.15

タットン会ホームページ **タットン会** と入力すると検索でき、**会の趣旨**や**開催日時**などが確認できます。また、「ボランティアセンター 046 (825) 0017」で、日程を確認することもできます。

※ **活動中などの写真掲載等をご辞退なされる方は、事務局員**にお申し出ください！（事務局は**青バッチ**です）  
（9/17の参加費は5,100円 **義援金**は、4,150円でした。）

9月17日のタットン会は、17名のチャレンジャーさんの参加でした。朝、体育館に準備に行くと、早くからチャレンジャーさんの**長さん**（写真右）がきてくれていて「これ、タットン会に寄付する！」と、愛用していた**バドミントンラケット**をプレゼントしてくれました。



この日は、とっっても久しぶりの**平野さんがチーフ**（写真左）。スタート前には「かずさん！この暑さです。休憩は2回とりましょう！」と、**全体のことを考えて**くれていて嬉しくなりました。

ペア組が始まり、皆さんの前で挨拶する姿は、こちらにも心臓のバクバク音が聞こえてくるような緊張した表情（皆さんの前に立つだけで、私もいつも緊張していますが…）。

活動中は、皆様の周りをグルグル回って健康状態を見てくれました。彼は、会計担当としていつも皆さんの参加費や募金を活動中に確認してくれているのです。（タットン会で必要なものがあれば、平野さんや私に言ってくださいね！）

**チーフをいろいろな人にやってもらうこと**で、活動中の「**見えなかったものが見えてくる**」ことも大きなメリットのひとつと感じています！

また、始めの挨拶時に「まだまだ復興も進んでいない東北への義援金を継続していきたいのですが…」と皆さんに相談しました。すると皆様から拍手がおこり「**今後しばらくの間はタットン会への募金は東北への義援金に回す**」ことにさせていただきましたのでご了承くださいませ。

実は先日の豪雨や台風で、他にも義援金を必要とされている地方もあるとの話を副代表の孝さんからお聞きしましたが、**今後もずっとと続くであろう「恐ろしい原発被害」**をもろに受けている東北地方への義援金に絞らせていただきました。

この夏に元福島県知事の「佐藤栄作久氏」とジャーナリストの「上杉隆氏」の話を聞かせていただきました。その後、彼らの原発に関する本を読みあさり～読めば読むほど焦りと迷いが胸を締め付けます。

夏から読み出して7冊目の本「原発のウソ」（京都大学原子炉実験所助教 小出裕章氏）では、無くすことが出来ない 死の灰…の恐ろしさを語っています。

今の子どもたちやこれから生まれてくる子どもたちのことを考えると、義援金をするだけでなく～我々大人はどのように責任をとっていけば良いのか…？ これからの子どもたちを守るために… 今出来ることは何か？

～「原発の恐ろしさを理解」し、皆様と共に考えていかれたらと思っています。



### 真剣勝負

左の写真は、10月に全国大会に出場する井上君とママさん卓球で腕をあげている木本さんの試合風景。そばで見ている、声をかけることすら遠慮してしまうくらいの真剣勝負でした。

木本さんから「本格的な試合、上手、上手…本気で楽しかったです。本気な姿 very good!!でした」とのこと。井上君、全国大会を楽しんで来てくださいね！

### 継続は力～

K君は、卓球で初めて？サーブを練習しました。

意外と早くマスターしたので、サーブからそのまま続けようとする～今まで出来ていたネット越しラリーが、サーブのようにコートの手前で弾ませて返すようになってしまいました（アハハ）。しかし、ボランティア針谷さんが何度も同



じ要求を繰り返した結果、見事「サーブからのラリーが完成」したのです。今高等部に通っているK君は、6歳の頃（タットン会発足時）からの参加です。カードを見てみると、最初の頃は「ボール遊び、かけっこ、風船…」などを楽しみ、あまりお母さんから離れようとはしませんでした。今の落ち着いた姿からは、想像は出来ません！？ **継続の力**を感じます！

「東北復興支援ボランティアに参加して」

大地震・津波・原子力発電所の事故の発生から半年が過ぎました。今日も、全国から大勢のボランティアが被災地に集まり、大津波で町ごと流された場所の泥や、家の残がいなどを取り除く作業が続いています。横須賀からは、7月と8月に合わせて3回ボランティアバスがでて、岩手県山田町で、延べ120人が2泊3日で活動しました。参加者は、黙祷をしてから作業に入ります。目の前のガレキを土のう袋に詰める作業が続きます。作業の合間に、立ち上がって腰を伸ばすと、目の前には、新興住宅の造成地のような景色が広がります。これから町ができるのではなく、ここに町があった。地元の人と言葉を交わしたとき、この活動は、ガレキの向こうの心をすくう作業ではないかと感じました。

鈴木孝芳

**余暇活動**

パート 61

私がタットン会を知ったのは先輩の紹介でした。初めて参加させていただいたときは、活動の流れがわからず右往左往していると、チャレンジャーさんの方が「こっちこっち〜！」と場所に案内してくれて助けられました(^\_^)。

始まりのときに目標を立てて活動を試みましょう、ということで、チャレンジャーさんと目標を立てました。その目標を達成したときにしか味わえない充実感を共有することができてうれしいです(^ ^)

まだまだはじめて間もないので、全員のチャレンジャーさんとバドや卓球、おしゃべりができていませんが、早く全員とおしゃべりができるとうれしいです(・A・)v

県立保健福祉大学1年 井口 啓一

**感想・参加者カード・気がついたこと!!! チャレンジャーさん17名参加**

- ※1 ラリーは最高で6往復。ボールを捉えるところまでは十分出来ているので、ホームランもバッチリ。サッと拾いにも行けるし、楽しくできました。…誰かスマッシュ教えられないかな!? (H様)
- ※2 ラリー中心で、前回92回だったのを目標にしました。50回以上が2回になりました。…わざと別方向にシャトルを打つことは少なくなりました。本人の疲れが、飽きのサインかも!? 途中声をかけてもらったとき、いい笑顔でした (声かけは、大切ですね!)。(W様)
- ※3 T君とW君と私と3人でラリーをやって24回も続けました”(^へ^)” T君はサーブがすごく上手!!! 苦手なのは下にきたシャトルです。あと、T君は足が速い!!! (O様)



カード確認の来切さ!

《 本日 10月15日の時程 チーフ中川、サブ小田谷》

- 9:30 ペア組 (カード確認)・体操、各種目へ
- 10:20 休憩 (場合により、2回)
- 10:35 後半の部
- 11:05 パラシュート・片づけ・モップ、感想カード記入
- 11:20 手話コーナー・けがの確認・感想
- 11:40頃 解散 (時間は多少前後します)

新しい仲間



**お知らせ** 2011年度の予定です! すべて県立保健福祉大学で予定しています!!

次回 **106回目 11/19決定** 107回目 12/17or24

2012年

108回目 1/21or28 109回目 2/18or25 110回目 3/17or24 タットン大会予定)